

教えて!!子育てと家事の分担はどうしてる??



〜4人の子育て中のお母さんに聞きました〜

Q1子どもは?

中学生から24歳まで男の子4人です。

Q2お父さんの日常の家事分担は?

特に決まっていますが、お茶碗が洗ってなければ洗っています。洗濯が干してなければ、干しています。できること、やったほうが良いことを意識せずやっています。

Q3学校行事へのかかわりは?

お父さんは、子どもが大きくなったら、部活動やPTAで出番が多くなりました。

Q4ここを改善出来たらと思うことは?…子育ても家事も

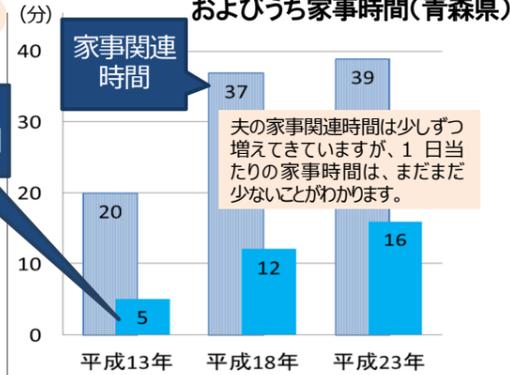
おらかさが必要だと思うので、そのことを意識するようにしています。

Q5他にひとこと…女も男もできることは決まっていると思うので、(例えば男性は出産できない、女性は男性より力仕事は難しい等) その家族に合った役割が大事だと思います。自分も相手も育った環境が違うので、当然ながら固定的な観念も違い、経験や出会いによっても変化していくと思います。子育て中は、先輩ママが近くにいたし、地域の中に一緒に子育てする友達がいてゆる〜いつながりがありました。自分自身はお産も子育ても楽でした。子どもたちも少しずつ手がかからなくなり、今、幸せを実感しています。

お母さん自身が精神的に満足、自律していれば家族はみんな元気ですよ。

うち家事時間

☆子どものいる夫の家事関連時間 およびうち家事時間(青森県)



夫の家事関連時間は少しずつ増えてきていますが、1日当たりの家事時間は、まだまだ少ないことがわかります。

平成13年~平成23年 社会生活基本調査
※子どもがいる夫の1日当たりの家事関連時間(土日を含む週全体の平均)
※家事関連時間…「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計

平成11年に男女共同参画社会基本法が施行されてから、18年が過ぎようとしています。

五所川原市男女共同参画に関する市民アンケート(平成28年)では、「男女共同参画」という言葉を「知っている」または「聞いたことがある」と回答した人の割合が74.7%となり、言葉自体はかなり浸透してきています。

女性の社会進出により、平成22年の国勢調査結果では、青森県の子どものいる夫婦共働き世帯は半数以上を占めていますが、社会生活基本調査によると、家庭の場での役割分担は「男女共同参画」とは言えず、依然として妻の負担は十分に軽減されていないままとなっています。

厚生労働省「第14回21世紀成年者縦断調査(平成14年成年者)」(2015年)の、「夫の休日の家事・育児時間別にみた第2子以降の出生状況」を見ると、夫の休日の家事・育児時間なしの場合、第2子以降が出生した夫婦の割合は1割ほどしかなく、逆に夫の家事・育児時間が長い夫婦ほど、第2子以降が出生した割合は高くなっています。

五所川原市の子どものいる夫婦共働き世帯 60.6%
平成27年国勢調査

子育ても家事も、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現が日本の未来を明るくするのではないのでしょうか。

さんかく

※この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。
女性(Female)と男性(Male)がともに支え合い、対等な立場で社会(Society)を形成することを願って!!
第24号 企画課 男女共同参画室(内線2156)

だれこれ、女!?!男!?!がするの? ~男女共同参画は浸透してきている?~

自分自身、夫、妻、結婚した息子や娘、息子の妻、娘の夫などの身近な人や一般の男性、女性に置き換えて考えてみましょう。

これらのイラストを見て何か感じますか?

いっしょに情報紙をつくりませんか?
ワイワイ情報交換をしながら紙面づくりをしています。
情報紙の編集をやってみたい方、男女共同参画に興味のある方、老若男女問いません。ご連絡はこちらまで。
◎企画課男女共同参画室
TEL: 0173-35-2111 内線2156
Eメール: danjo@city.goshogawara.lg.jp

~編集後記~
今回より編集に加わりました新人委員のTです。発行までに数回行われた編集会議。編集メンバーの知識や多様性に刺激を受けながら目指そうとしている社会の実現と現実を考える時間でした。
新たな楽しみと学びの場となりそうです。